

看護部
だより

ナースキャップ

No.8

防災訓練

その時
あなたは…

19.12.2

19.11.14 安全な医療の 提供のために



講演会より

医療安全管理室 青木春美
安全管理室の仕事をして一番感
じることは、コミュニケーション
不足です。医療者側の様々な考え
が、患者様やご家族に伝わってい
ないと感じる事例が大変多いで
す。

今回の医療安全講演「医療訴訟
の現状と対策」でも、最初に先生
が言われたのが、コミュニケーション
の重要性。今、病院が必要
とする5つの項目は、まず、地味
な活動であるが守りの美学と言わ
れる「インフォームド・コンセン
ト、接遇、記録」の3つ、そして
4つ目は、地域が求めている救急
時の対応、5つ目は、事故が起こっ
たとき、何をすべきか考える。「24
時間以内」という時間帯が患者様

にとっても医療従事者にとっても
重要な時間であることを認識する
ことだそうです。

患者様から「先生に会いに来た
よ」と言われる人間関係があれ
ば医療訴訟は起きないという。常
に相手の気持ちを思いやり、患者
様と共にいい医療の提供をしてい
きたいと考えています。



順天堂大学医学部 病院管理学
小林弘幸教授



トリアージ中

2西 柴田葉子
今回の防災訓練で私は、黄色にトリ
アージされた患者の処置、介助、ケア
にあたりました。役割を指示され、診
察室の環境を整えることから始まりま
した。大騒ぎをしながら、なんとか体
勢ができたところで、次から次へ患者
役が搬送されてきました。患者は迫真
の演技で、痛みを大声で訴えたり、た
くさんの要求をしてくれます。縫合など
の処置がされ、検査、入院へ…。

なにより私は、感情的にならずにい
られるのか。多数の患者様に処置の順番
を付け、場合によっては「お帰りくだ
さい」など普段考えられないことを言
わなくてはなりません。苦しんでいる
方に順番を付けることは酷なことす
が、ルールがなければパニックにな
ります。

災害は起こらないことが一番です
が、いつか必ず来るものと思っていな
くてはなりません。今回、訓練に参加
し、少しでもイメージができてよかつ
たと思いました。



クロスロード (イメージトレーニング) 研修